

津久井湖の果たす役割

洪水調節

ダムは、水と電気の供給の他に、大雨等による洪水の氾濫から、人々の生命や財産を守ることがあります。

川の上流にたくさんの雨が降ると、下流の水が増えて洪水の危険が出てくるため、台風や大雨が多い夏から秋までの期間は前もってダム湖の水位を下げて貯水量を減らし、上流から流れてくる水をいったんダム湖に貯められるようにしておき、洪水に備えています。

上流域で大雨が降り流入量が増大すると、下流に支障を与えない程度の流量を下流へ放流し、流入量の一部をダム湖に貯めこみます。

城山ダムは、計画洪水量4,100m³/秒を3,000m³/秒に調節し、下流の洪水による災害を軽減させる洪水調節の役割を有しています。

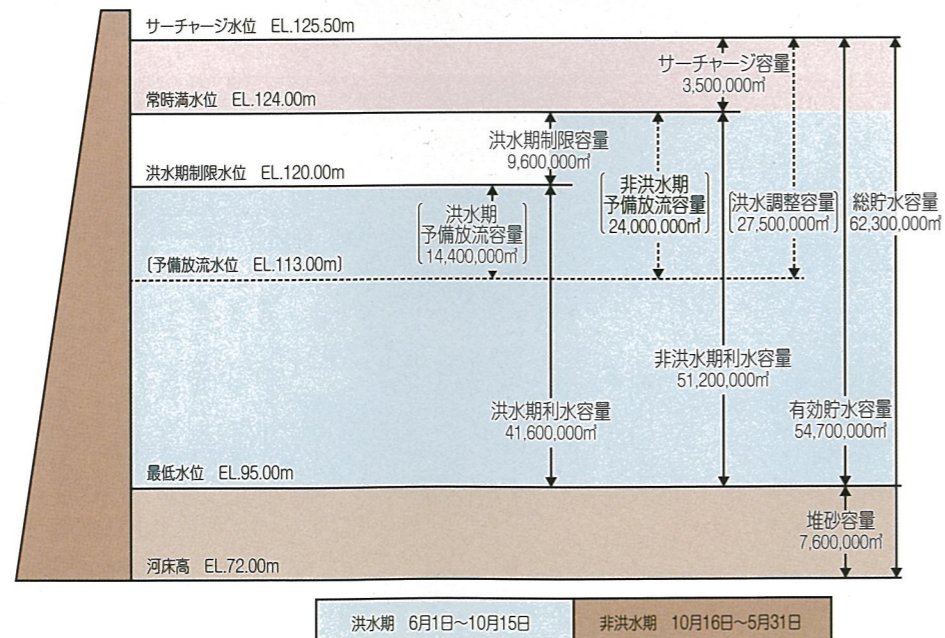


放流中の城山ダム



平時の城山ダム

●城山ダム容量配分



洪水期 6月1日~10月15日 非洪水期 10月16日~5月31日

●城山ダム既往洪水データ

順位	年月日	放流原因	総雨量 (mm)	時間最大雨量 (mm)	最大流入量 (m ³ /秒)	最大放流量 (m ³ /秒)	最高水位 (常時満水位 124.0m)
1	昭和57年 8月2日	台風10号	505.4	36.3	4,624.57	3,063.30	-0.65
2	平成3年 8月20日	台風12号	451.9	39.1	3,154.55	2,480.39	-2.76
3	平成19年 9月7日	台風9号	380.9	25.1	3,128.45	2,450.05	-5.98
4	昭和57年 9月12日	台風18号	492.0	28.6	2,882.50	2,241.14	-5.66
5	昭和41年 9月25日	台風24号	226.2	47.0	2,877.11	2,259.58	-3.60
6	平成23年 9月21日	台風15号	358.0	38.2	2,788.87	2,341.37	-5.96
7	平成11年 8月14日	熱帯低気圧	346.2	29.1	2,682.98	2,235.40	-1.49
8	昭和49年 9月1日	台風16号	296.2	27.3	2,644.80	2,316.70	-0.77
9	昭和58年 8月17日	台風5号・6号	748.9	33.6	2,547.00	2,103.13	-4.13
10	平成3年 9月19日	台風18号	312.4	27.4	2,481.36	2,006.70	-4.47



憩いの場としての津久井湖

津久井湖は、ダム湖としての役割を果たすだけでなく、ほとりにある県立津久井湖城山公園の「水の苑地」「花の苑地」は、憩いの場としても知られています。

桜の季節を始めとして、津久井湖周辺の自然が多くの人々に親しまれています。

